

2023年度 第3四半期 決算

I. 2023年度 第3四半期累計 決算概要

II. 2023年度 第3四半期 決算概要

III. 2023年度 通期 業績予想

IV. 補足資料

シャープ株式会社

2024年2月6日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

・実績

第3四半期累計では、営業利益が減益となるも、
経常利益・最終利益は増益となり、最終黒字となる。

第3四半期では、営業利益・経常利益・最終利益とも増益となる。
ブランド事業を中心に本業の回復が進んでおり、
営業利益は、第1四半期以降、着実に改善。

・通期業績予想

中小型ディスプレイの市況が非常に厳しいことから、業績予想を修正。

SHARP

1

・最初は、連結業績の概要になります。

・第3四半期累計では、営業利益が減益となったものの、
経常利益・最終利益が増益となっており、最終黒字となっています。

また、第3四半期だけを見ますと、営業利益・経常利益・最終利益とも、
増益となっています。

ブランド事業を中心に本業の回復が進んでいることから、
営業利益は、第1四半期以降、着実に改善しています。

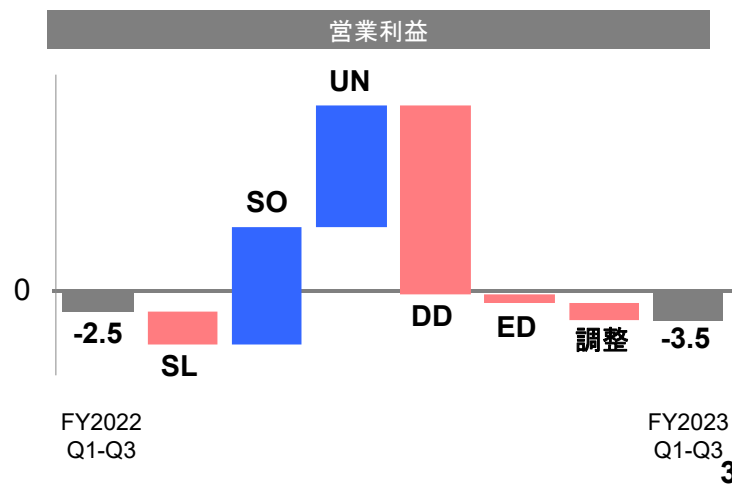
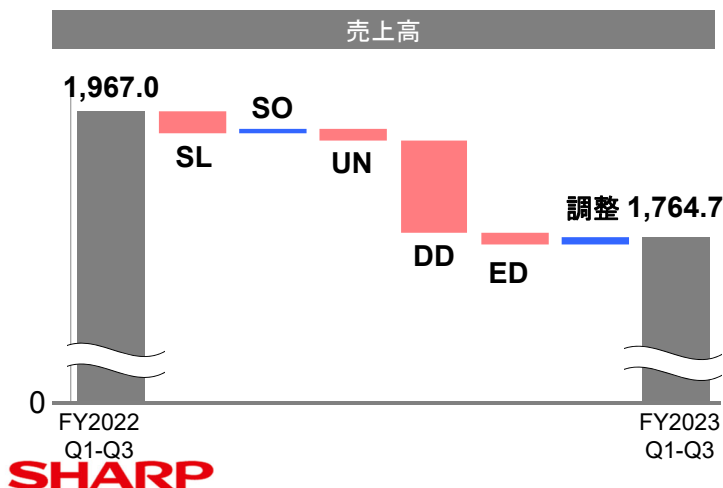
・通期業績については、
中小型ディスプレイの市況が非常に厳しいことから、
業績予想を修正しております。

I . 2023年度 第3四半期累計 決算概要

- ・ 2023年度 第3四半期までの累計の実績について、ご説明させていただきます。

2023年度 第3四半期累計 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2022	FY2023	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
売上高	1,967.0	1,764.7	-10.3%
営業利益	-2.5 (-0.1%)	-3.5 (-0.2%)	-
経常利益	-1.8 (-0.1%)	6.5 (0.4%)	-
最終利益	-8.9 (-0.5%)	2.0 (0.1%)	-
平均為替レート			
ドル円	135.52	143.29	
ユーロ円	139.08	155.28	

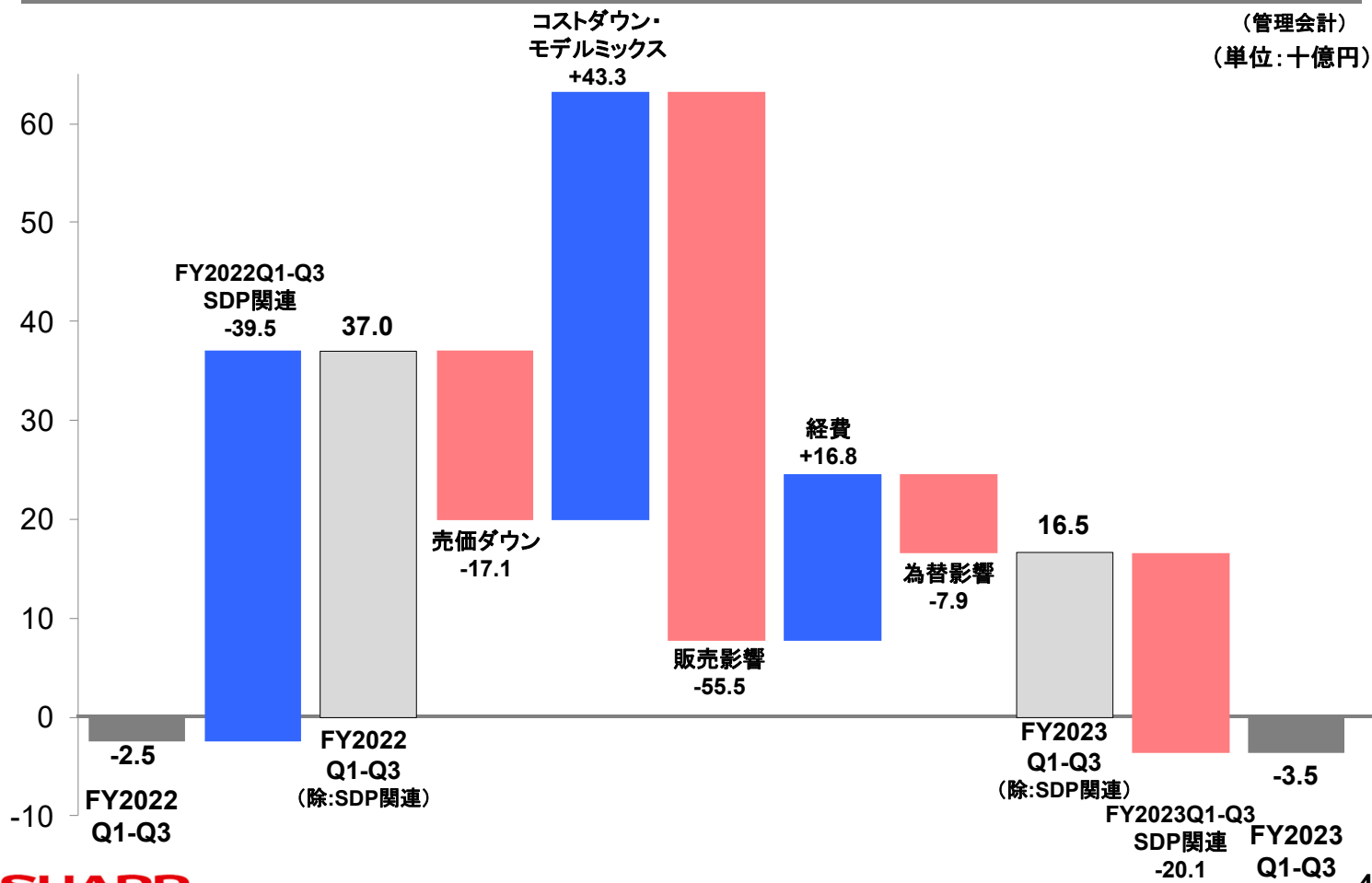


- ・ 次のスライドをご覧ください。第3四半期までの累計の業績です。
- ・ 売上高は、1兆7,647億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益は 35億円の赤字、
経常利益は 65億円の黒字、
最終利益は 20億円の黒字となっております。

次ページ以降に、営業利益の増減分析、セグメント別の売上高・営業利益をまとめておりますので、ご確認ください。

(第3四半期累計) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)
(単位:十億円)

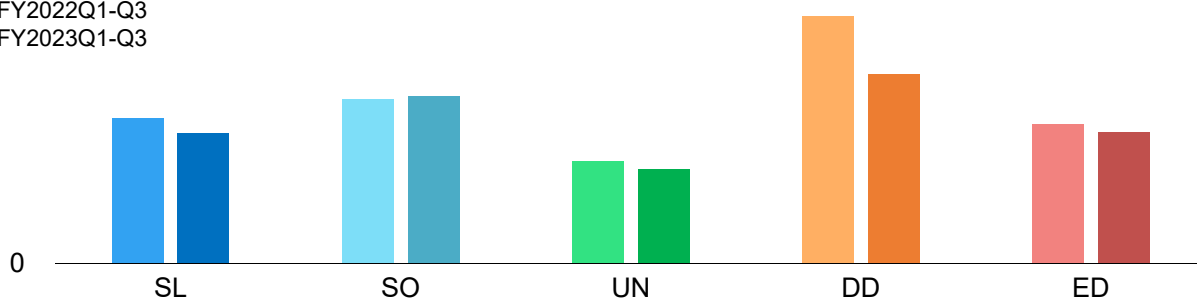


SHARP

(第3四半期累計)セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2022	FY2023	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
スマートライフ&エネルギー	366.1	329.9	-9.9%
スマートオフィス	414.3	421.7	+1.8%
ユニバーサルネットワーク	257.1	238.6	-7.2%
ブランド事業	1,037.7	990.4	-4.6%
ディスプレイデバイス	624.4	477.0	-23.6%
エレクトロニックデバイス	352.2	332.2	-5.7%
デバイス事業	976.7	809.2	-17.1%
小計	2,014.4	1,799.7	-10.7%
調整額	-47.3	-34.9	-
合計	1,967.0	1,764.7	-10.3%

左棒 : FY2022Q1-Q3
右棒 : FY2023Q1-Q3

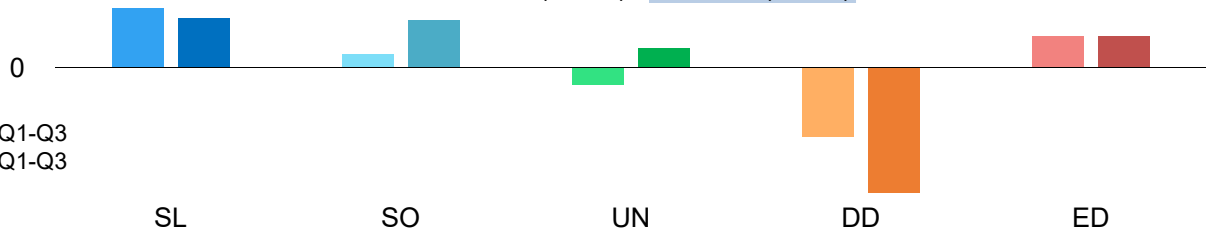


SHARP

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

(第3四半期累計)セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2022	FY2023	
	Q1-Q3	Q1-Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	23.5 (6.4%)	19.5 (5.9%)	-16.8%
スマートオフィス	5.1 (1.2%)	18.9 (4.5%)	+267.3%
ユニバーサルネットワーク	-6.5 (-2.5%)	7.6 (3.2%)	-
ブランド事業	22.1 (2.1%)	46.1 (4.7%)	+108.6%
ディスプレイデバイス	-27.3 (-4.4%)	-49.4 (-10.4%)	-
エレクトロニックデバイス	13.3 (3.8%)	12.2 (3.7%)	-7.7%
デバイス事業	-14.0 (-1.4%)	-37.1 (-4.6%)	-
小計	8.0 (0.4%)	9.0 (0.5%)	+11.6%
調整額	-10.6	-12.6	-
合計	-2.5 (-0.1%)	-3.5 (-0.2%)	-



SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

Ⅱ. 2023年度 第3四半期 連結業績概要

- ・ 続いて、2023年度 第3四半期の実績です。

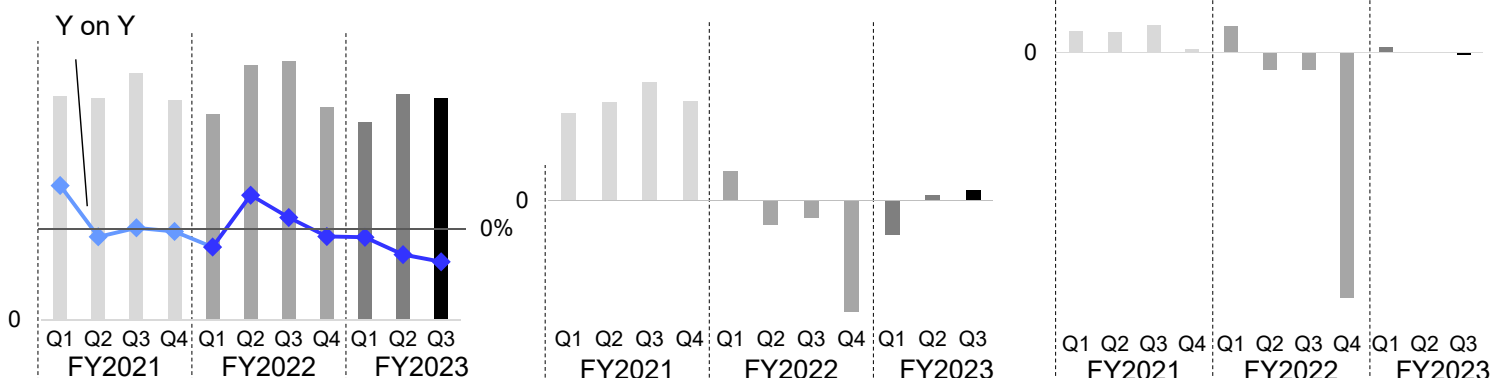
2023年度 第3四半期 連結業績概要

(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0	606.4	-14.5%
営業利益	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-
経常利益	17.4 (3.1%)	-8.2 (-1.2%)	-11.0 (-1.6%)	-28.6 (-4.9%)	-0.5 (-0.1%)	3.5 (0.6%)	3.5 (0.6%)	-
最終利益	26.9 (4.8%)	-17.4 (-2.5%)	-18.4 (-2.6%)	-251.8 (-43.3%)	5.5 (1.0%)	-0.5 (-0.1%)	-2.9 (-0.5%)	-
平均為替レート								
ドル円	128.57	137.38	140.60	131.35	137.37	144.63	147.89	
ユーロ円	136.60	137.84	142.81	140.60	149.46	157.29	159.10	

売上高

営業利益

最終利益



SHARP

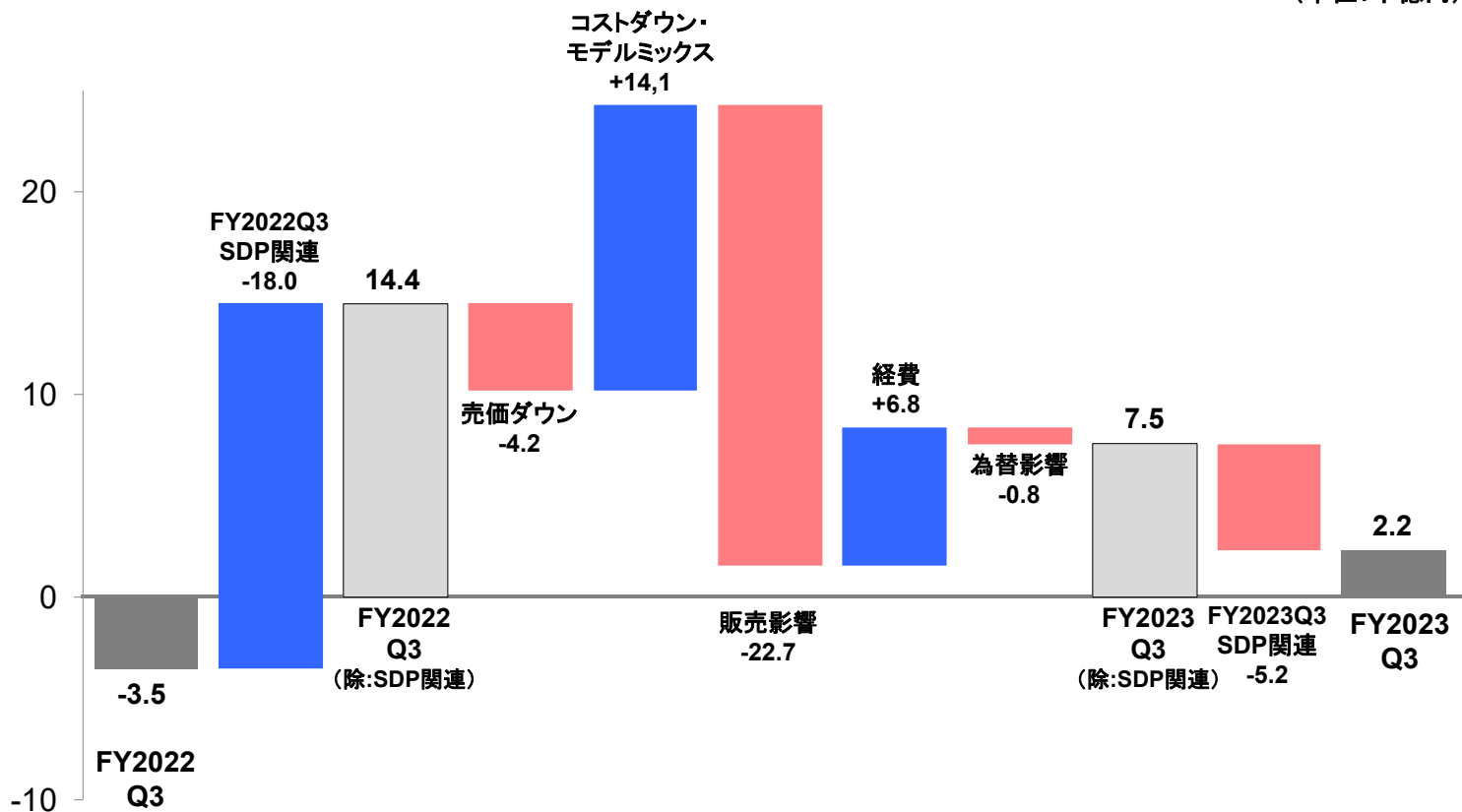
8

- ・ 次のスライドをご覧ください。2023年度 第3四半期の業績数値です。
- ・ 売上高は、前年同期比 14.5%減の 6,064億円となりました。
- ・ 利益につきましては、
営業利益が、前年同期の35億円の赤字に対し、22億円の黒字、
経常利益が、110億円の赤字に対し、35億円の黒字、
最終利益が、184億円の赤字に対し、29億円の赤字となっております。

各利益とも、前年同期を上回っており、
本業の収支となる営業利益は、第2四半期から、さらに改善しております。

(第3四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)
(単位:十億円)



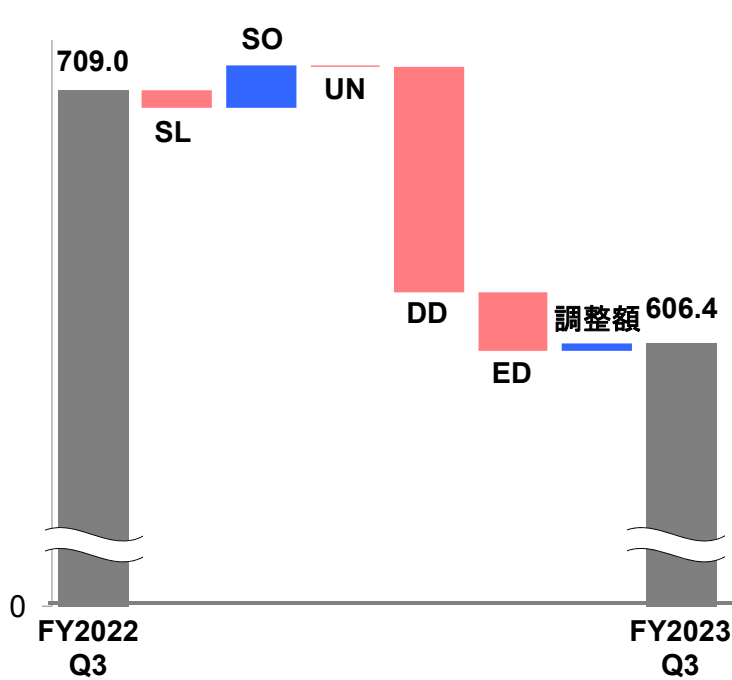
- ・ 次のグラフに、2023年度 第3四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめておりますので、ご確認ください。

(第3四半期)セグメント別増減分析(対前年同期)

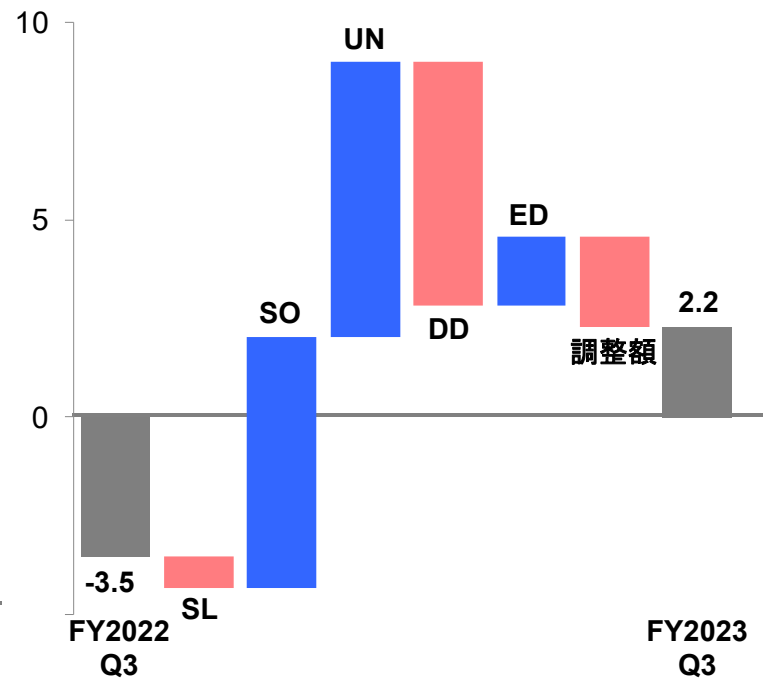
・課題事業であったPC事業・通信事業などの構造改革に取り組んだ
スマートオフィス・ユニバーサルネットワークの営業利益が大幅に改善

(単位:十億円)

売上高



営業利益



SHARP

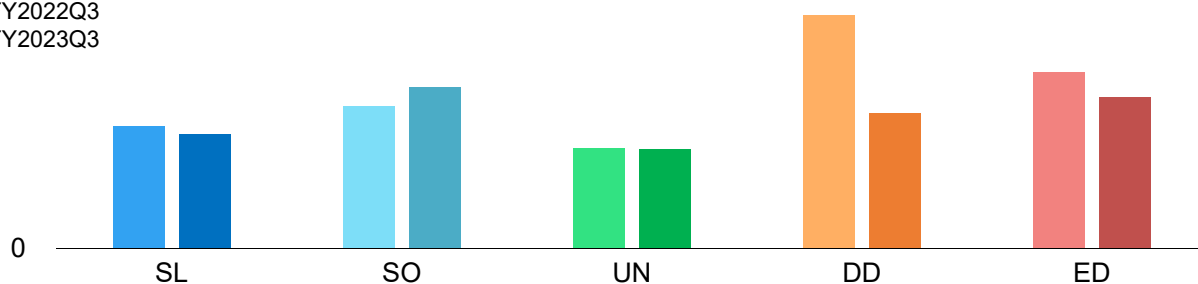
10

- ・ 次のスライドに、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめておりますので、ご覧ください。
- ・ 課題事業であったPC事業・通信事業などの構造改革に取り組んだスマートオフィスとユニバーサルネットワークの営業利益が大幅に改善しています。

(第3四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	116.6	106.6	-6.2%
スマートオフィス	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	144.8	150.2	+13.3%
ユニバーサルネットワーク	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	80.3	92.5	-1.2%
ブランド事業	320.7	376.9	339.9	335.0	299.0	341.8	349.5	+2.8%
ディスプレイデバイス	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	179.4	126.3	-42.0%
エレクトロニックデバイス	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	108.1	140.8	-14.4%
デバイス事業	258.3	336.0	382.2	258.8	254.5	287.5	267.1	-30.1%
小計	579.1	712.9	722.2	593.8	553.6	629.4	616.6	-14.6%
調整額	-16.9	-17.1	-13.1	-12.8	-12.3	-12.4	-10.2	-
合計	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0	606.4	-14.5%

左棒：FY2022Q3
右棒：FY2023Q3



SHARP

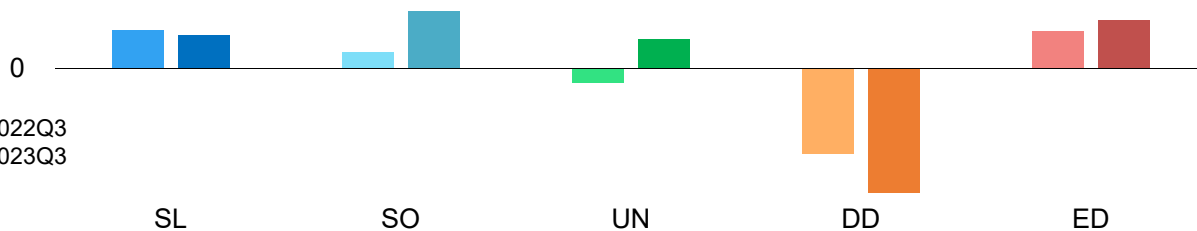
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

11

- ・ 次は、2023年度 第3四半期のセグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 2.8%増の 3,495億円、デバイス事業は 30.1%減の 2,671億円となりました。

(第3四半期)セグメント別営業利益

(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
スマートライフ&エナジー	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)	5.2 (5.0%)	-13.4%
スマートオフィス	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	+244.2%
ユニバーサルネットワーク	0.3 (0.5%)	-4.6 (-5.3%)	-2.3 (-2.5%)	-1.2 (-1.6%)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)	-
ブランド事業	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	13.9 (4.2%)	11.7 (3.9%)	15.4 (4.5%)	18.9 (5.4%)	+195.5%
ディスプレイデバイス	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-
エレクトロニックデバイス	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	7.6 (5.4%)	+29.5%
デバイス事業	0.6 (0.2%)	-6.9 (-2.1%)	-7.7 (-2.0%)	-37.6 (-14.5%)	-15.2 (-6.0%)	-9.7 (-3.4%)	-12.1 (-4.5%)	-
小計	9.6 (1.7%)	-0.2 (-0.0%)	-1.2 (-0.2%)	-23.6 (-4.0%)	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)	-
調整額	-3.4	-4.8	-2.2	0.4	-3.6	-4.4	-4.5	-
合計	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)	-



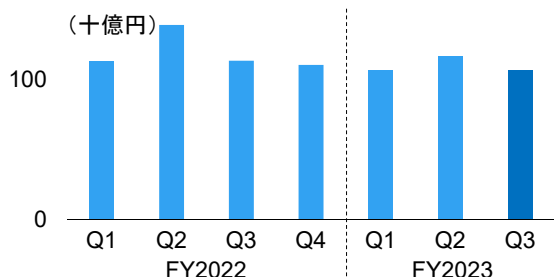
SHARP

※()内の数字は営業利益率です。 12

- 次のスライドは、セグメント別 営業利益の一覧になります。
 - ブランド事業の営業利益は、前年同期比 195.5%増の 189億円となりました。ご覧のように、ブランド事業の利益率は、改善傾向にあり、足元では5%を超えるレベルまで回復してきました。
- 一方、デバイス事業は、前年同期の 77億円の赤字に対し、44億円の減益となり、121億円の赤字となっております。

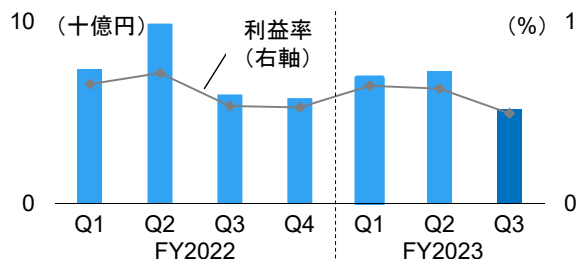
(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	116.6	106.6	-6.2%
営業利益 (利益率)	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)	5.2 (5.0%)	-13.4%

売上高(減収)



- (減) 国内で洗濯機など白物家電の需要が総じて低調に推移
- (減) 国内で調理家電や空気清浄機などの流通在庫の抑制を進める
- (減) 欧米の調理家電の市況が悪化
- (減) エネルギーソリューション事業では、EPCが減少
- (増) 国内で美容家電が大きく伸長
- (増) ASEANで、新工場立ち上げ効果もあり、エアコンが引き続き伸長
- (増) ASEANで高付加価値モデル冷蔵庫の販売が伸長

営業利益(減益)



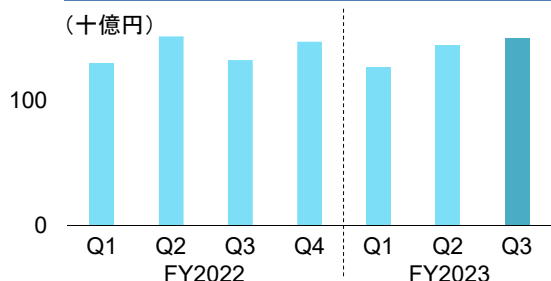
- (減) 販売減の影響
- (減) 円安の影響
- (増) 各事業で高付加価値化が進展
- (増) コストダウン・経費削減



- ・ 次のスライドをご覧ください。セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフ&エナジーです。
- ・ 売上高は、白物家電事業が増収となったものの、エネルギーソリューション事業が減収となり、前年同期比 6.2%減の 1,066億円となりました。
白物家電事業は、国内が減収、海外が増収となっています。
国内では、美容家電が大幅に伸長しましたが、個人消費が旅行や外食へシフトし、白物家電の需要が低調に推移するなか、今後も見据え、調理家電などの流通在庫の抑制を進めた影響がありました。
海外では、調理家電の市況が低迷した欧米は減収となったものの、インドネシア新工場の立ち上げ効果によりエアコンが大きく伸長し、冷蔵庫も好調だったASEANが大幅な増収となりました。
一方、エネルギーソリューション事業では、EPCが大幅な減収となりました。
- ・ 営業利益は、13.4%減の 52億円となりました。
コストダウン・経費削減に取り組むとともに、高付加価値化を進めていることから、円安の影響が大きいなかでも、安定した利益を確保することができております。

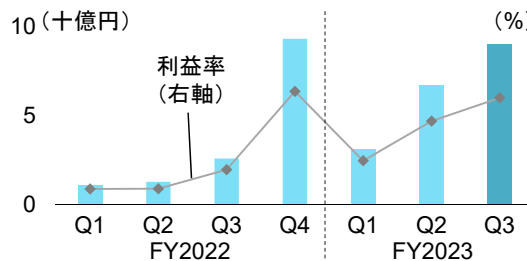
(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	144.8	150.2	+13.3%
営業利益 (利益率)	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)	+244.2%

売上高(増収)



- (増) MFP事業やオフィスソリューション事業が、欧米を中心に大きく伸長
- (増) PC事業では、法人向けプレミアムモデルが好調だったことから、国内の法人向け・官公庁向けのシェアが拡大
- (減) 北米などでプロジェクターの需要が低調
- (減) PC市況の低迷
- (減) 構造改革の一環として、欧州のPC事業から撤退

営業利益(増益)



- (増) PC事業・オフィスソリューション事業の高付加価値化
- (増) MFP事業の販売増
- (増) PC事業・インフォメーションディスプレイ事業などで構造改革の効果



・ 次は、スマートオフィスです。

・ 売上高は、ビジネスソリューション事業・PC事業とも増収となり、前年同期比 13.3%増の 1,502億円となりました。

ビジネスソリューション事業では、プロジェクターが、北米の需要低迷の影響を受け、減収となりましたが、MFP事業やオフィスソリューション事業が、欧米を中心に大きく伸長しました。

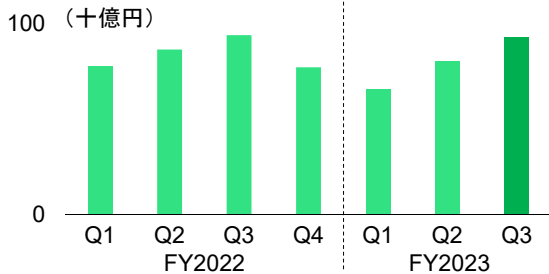
PC事業については、市況が低迷するなか、法人向けプレミアムモデルが好調で、国内で法人向け・官公庁向けのシェアを拡大することができたことから、増収となりました。

・ 営業利益は、ビジネスソリューション事業、PC事業ともに大幅な増益となり、244.2%増の 90億円となりました。

構造改革の効果が着実に出ていくことに加え、PC事業・オフィスソリューション事業の高付加価値化が進んだこと、MFP事業が増収となったことなどによるものです。

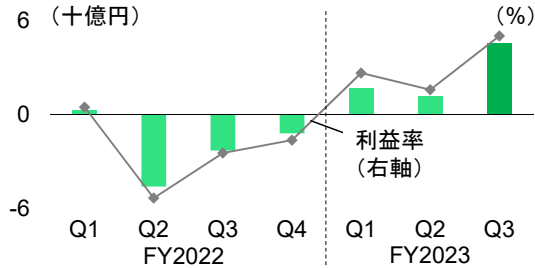
(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	80.3	92.5	-1.2%
営業利益	0.3	-4.6	-2.3	-1.2	1.7	1.2	4.6	-
(利益率)	(0.5%)	(-5.3%)	(-2.5%)	(-1.6%)	(2.7%)	(1.6%)	(5.0%)	

売上高(減収)



- (減) テレビ事業で中国での価格競争が継続
- (減) 通信の国内市況が低迷
- (増) テレビ事業で国内の高付加価値モデルが好調に推移

営業利益(増益)



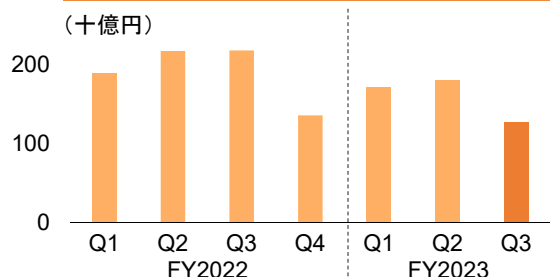
- (増) 構造改革の効果
- (増) テレビ事業の高付加価値化
- (増) 通信事業でコストダウン・経費削減が進展
- (増) 通信事業で一過性の収益を計上
- (減) 販売減の影響
- (減) 円安の進展



- 次のスライドは、ユニバーサルネットワークになります。
- 売上高は、テレビ事業が増収となったものの、通信事業が減収となり、前年同期比 1.2%減の 925億円となりました。
 テレビ事業は、価格競争の影響もあり中国が減収となりましたが、高付加価値モデルの販売が進展し、国内などが増収となりました。
 一方、通信事業は、国内市況が低迷した影響を受けました。
- 営業利益については、前年同期の23億円の赤字に対し、69億円の増益となり、46億円の黒字となりました。
 構造改革の効果が出ていること、高付加価値化が進展していることに加え、一過性の収益を計上したことなどもあり、利益は大幅に改善しました。

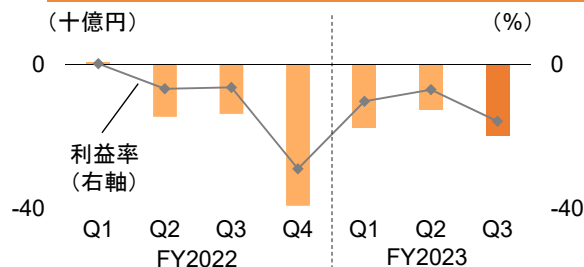
(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	179.4	126.3	-42.0%
営業利益 (利益率)	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)	-

売上高(減収)



- (減) PC・タブレット市況の回復遅れによる影響
- (減) スマートフォン向けパネルの需要が低迷
- (減) 米国などで車載ディスプレイの需要回復に遅れ
- (増) 大型ディスプレイの需要が改善

営業利益(減益)



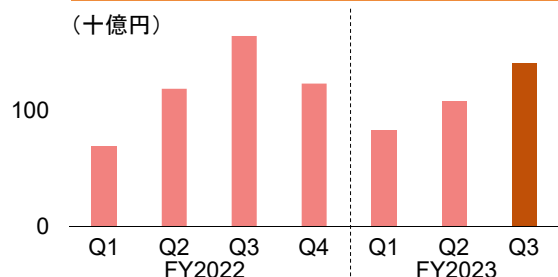
- (減) 中小型ディスプレイの販売減
- (増) 大型ディスプレイの売価回復
- (増) コストダウン・経費削減の進展



- ・ 次は、ディスプレイデバイスです。
- ・ 売上高は、前年同期比 42.0%減の 1,263億円となりました。
市況の回復が遅れたスマートフォン向けやPC・タブレット向けなど
中小型ディスプレイが減収となり、
需要が改善した大型ディスプレイなどは増収となりました。
- ・ 営業利益については、前年同期の136億円の赤字に対し、61億円の減益となり、
197億円の赤字となりました。
大型ディスプレイの赤字は縮小したものの、
減収となった中小型ディスプレイの利益が大きく落ち込みました。

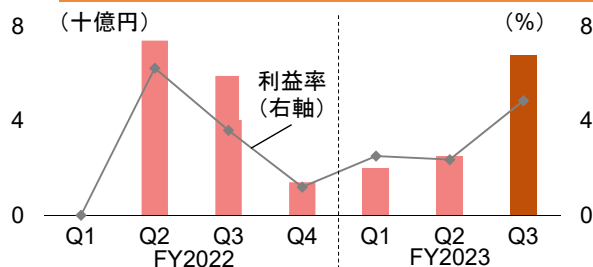
(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y
売上高	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	108.1	140.8	-14.4%
営業利益	0.0	7.4	5.9	1.4	2.0	2.5	7.6	+29.5%
(利益率)	(0.0%)	(6.2%)	(3.6%)	(1.2%)	(2.5%)	(2.4%)	(5.4%)	

売上高(減収)



(減) センサーモジュールの顧客需要が変動
(減) ディスプレイ需要の低迷によりLCDドライバが減少

営業利益(増益)



(増) 経費削減
(増) 円安の影響
(減) 販売減の影響



- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、センサーモジュールの顧客需要が変動した影響があったこと、ディスプレイ需要の低迷によりLCDドライバが減少したことなどから、14.4%減の 1,408億円となりました。
- ・ 営業利益は、減収となった影響はありましたが、経費削減を進めたこと、円安となったことなどから前年同期比 29.5%増の 76億円となりました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)	FY2022				FY2023			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Y on Y 増減額
営業利益	6.1	-5.0	-3.5	-23.1	-7.0	1.1	2.2	+5.7
営業外損益	+11.3	-3.1	-7.5	-5.4	+6.5	+2.3	+1.2	+8.7
内:支払利息	-0.9	-2.6	-2.9	-2.7	-2.9	-2.6	-2.5	+0.4
為替差損益	+13.0	+5.7	-1.1	-0.3	+6.2	+2.9	+0.4	+1.5
投資関連収益・費用	+4.1	+1.5	+0.8	+0.2	+0.2	+0.3	+0.3	-0.5
持分法による投資損益	-5.1	-6.9	-5.7	-2.5	+1.3	+2.4	+2.9	+8.6
経常利益	17.4	-8.2	-11.0	-28.6	-0.5	3.5	3.5	+14.5
特別損益	+12.2	-1.3	+3.3	-222.7	+9.3	-0.9	-3.4	-6.7
内:固定資産売却益	+0.9	+1.0	+4.7	+0.4	+0.5	+2.0	+0.6	-4.1
段階取得に係る差益	+12.4	-	-	-	+1.3	-	-	-
持分変動利益	+0.2	-	-	-	+4.2	-	-	-
債務取崩益	-	-	-	-	+4.8	-	-	-
事業構造改革費用	-	-1.0	-0.3	-3.0	-	-0.6	-0.2	+0.1
減損損失	-	-	-0.5	-219.9	-1.4	-1.8	-1.0	-0.5
事業売却損	-	-	-	-	-	-	-2.3	-2.3
訴訟損失引当金繰入額	-1.4	-0.8	+0.2	-0.0	-	-	-	-0.2
税前利益	29.6	-9.6	-7.6	-251.4	8.8	2.6	0.0	+7.6
法人税等 他	-2.7	-7.8	-10.7	-0.4	-3.2	-3.2	-3.0	+7.7
最終利益	26.9	-17.4	-18.4	-251.8	5.5	-0.5	-2.9	+15.5

SHARP

18

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 2023年度 第3四半期は、特別損失として、カンタツ社などの異動に伴う事業売却損を計上しております。

連結貸借対照表推移

・2023年度 第3四半期末の現預金は 2,119億円、純資産は 2,681億円、自己資本比率は 14.5%となる

(単位:十億円)

	FY2022	FY2023			FY2022	FY2023	
	3月末	9月末	12月末		3月末	9月末	12月末
現預金	262.0	249.0	211.9	買掛金等	371.8	426.1	398.4
売掛金等	438.0	485.0	434.6	短期借入金	163.8	198.4	171.2
棚卸資産	299.3	302.9	302.3	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	87.6	86.4	84.3	その他	346.7	355.0	339.0
流動資産計	1,087.0	1,123.4	1,033.2	流動負債計	882.5	979.6	908.7
有形固定資産	389.2	394.9	390.9	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	35.8	37.8	35.0	長期借入金	542.7	456.1	446.4
投資その他資産	260.7	294.2	288.6	その他	125.3	127.6	124.6
固定資産計	685.8	727.0	714.7	固定負債計	668.0	583.7	571.0
資産合計	1,772.9	1,850.4	1,747.9	純資産	222.3	287.0	268.1
				負債純資産合計	1,772.9	1,850.4	1,747.9
期末日レート							
ドル円	132.54	149.58	141.82	自己資本比率	11.8%	14.7%	14.5%
ユーロ円	144.22	157.97	157.09	自己資本	208.4	272.3	253.8

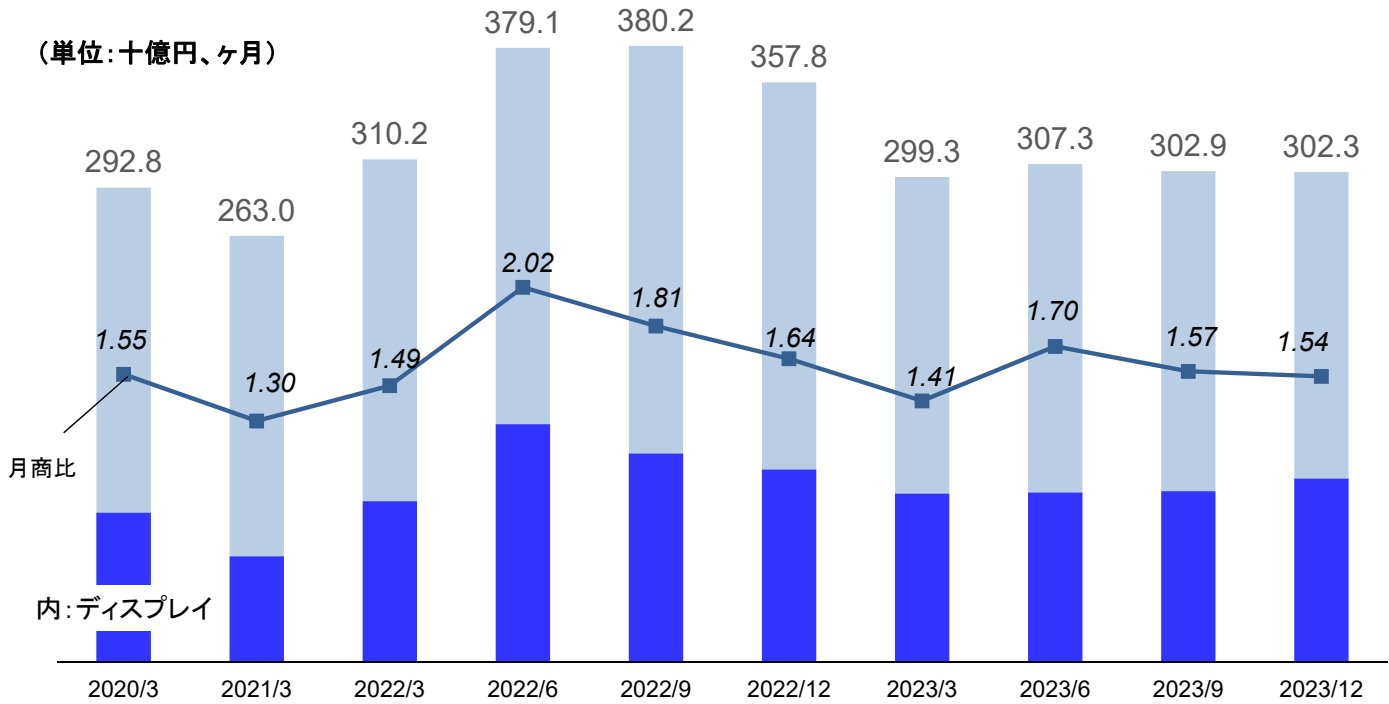
SHARP

19

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 「現預金」は、2023年9月末の 2,490億円に対し、2,119億円に、
「純資産」は 2,870億円に対し、2,681億円に、
「自己資本比率」は、14.7%に対し、14.5%になっております。

棚卸資産の推移

・棚卸資産は、9月末の3,029億円に対し、3,023億円となっており、今後の販売計画に沿った適正水準



※会計基準の変更があったため、2021/3以前は基準が異なる

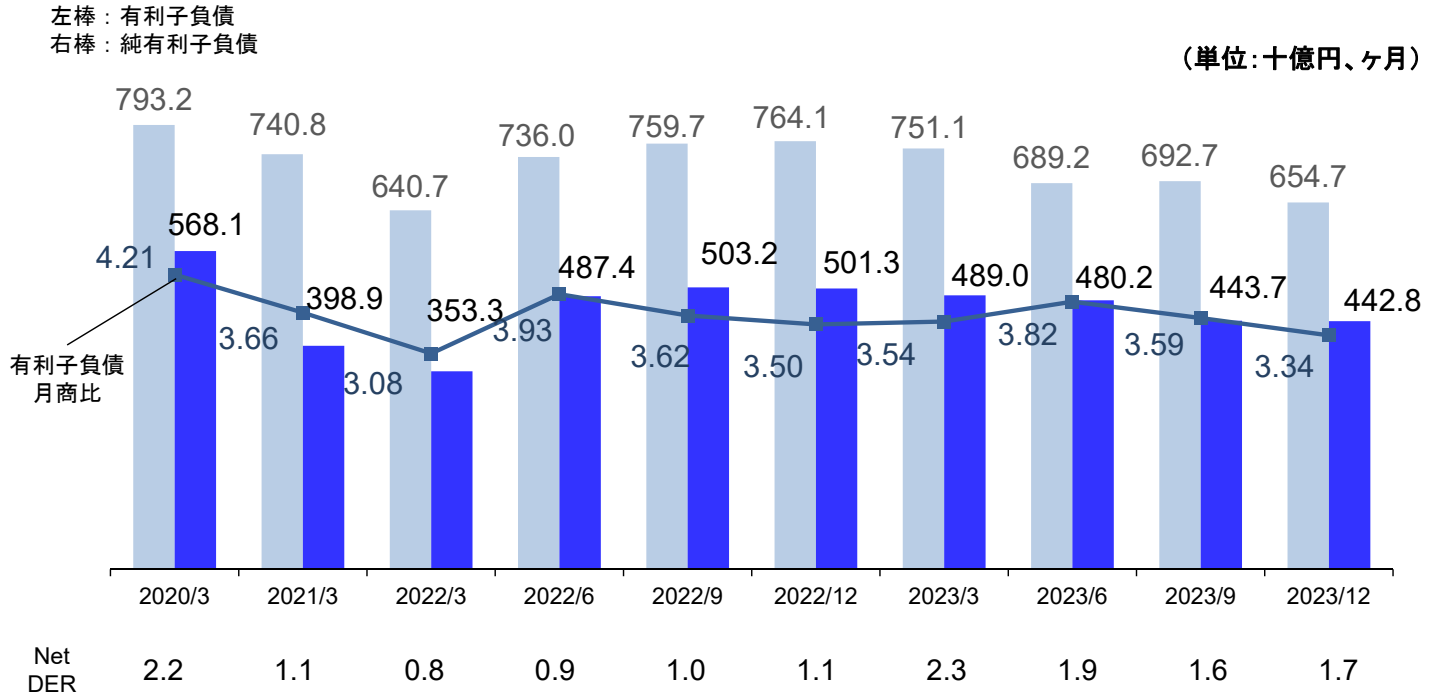
SHARP

20

- ・ 次のスライドをご覧ください。棚卸資産の推移になります。
- ・ 2023年12月末の棚卸資産は、9月末の3,029億円に対し、3,023億円となっており、今後の販売計画に沿った適正水準となっております。
- ・ 今後とも状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

・純有利子負債は、9月末の4,437億円に対し、4,428億円になる



SHARP

※純有利子負債：有利子負債 - 現預金

21

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 純有利子負債は、9月末の4,437億円に対し、4,428億円となっております。

Ⅲ. 2023年度 連結業績予想

- ・最後に、2023年度の連結業績予想です。

2023年度 連結業績予想

- ・中小型ディスプレイの市況が非常に厳しいことから、業績予想を修正
- ・業績は回復基調にあり、引き続き、さらなる回復に取り組む

(単位:十億円)

	FY2022	FY2023			
	通期	通期 前回予想	通期 今回予想	前年比	修正額
売上高	2,548.1	2,560.0	2,350.0	-7.8%	-210.0
営業利益 (利益率)	-25.7 (-1.0%)	40.0 (1.6%)	0.0 (0.0%)	-	-40.0
経常利益 (利益率)	-30.4 (-1.2%)	39.0 (1.5%)	4.0 (0.2%)	-	-35.0
最終利益 (利益率)	-260.8 (-10.2%)	10.0 (0.4%)	-10.0 (-0.4%)	-	-20.0
平均為替レート		(下期想定)	(4Q想定)		
ドル円	134.48	145.00	145.00		
ユーロ円	139.46	155.00	155.00		

SHARP

23

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 前回の業績予想公表以降、スマートフォン向けやPC・タブレット向けの需要回復が遅れるなど、中小型ディスプレイの市況が非常に厳しいものになっています。
こうした状況を踏まえ、ご覧のように業績予想を修正しております。
- ・ 今回、通期予想を修正いたしました。業績は回復基調にありますので、今後も、さらなる回復に努めてまいります。

ご清聴ありがとうございました。

IV. 補足資料

連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,257.9	1,290.1	2,548.1	1,158.2	1,191.8	2,350.0
営業利益	1.0	-26.7	-25.7	-5.8	5.8	0.0
(利益率)	(0.1%)	(-2.1%)	(-1.0%)	(-0.5%)	(0.5%)	(0.0%)
経常利益	9.2	-39.7	-30.4	3.0	1.0	4.0
(利益率)	(0.7%)	(-3.1%)	(-1.2%)	(0.3%)	(0.1%)	(0.2%)
最終利益	9.4	-270.2	-260.8	4.9	-14.9	-10.0
(利益率)	(0.8%)	(-21.0%)	(-10.2%)	(0.4%)	(-1.3%)	(-0.4%)

SHARP

S-2

四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0	606.4
営業利益	6.1	-5.0	-3.5	-23.1	-7.0	1.1	2.2
(利益率)	(1.1%)	(-0.7%)	(-0.5%)	(-4.0%)	(-1.3%)	(0.2%)	(0.4%)
経常利益	17.4	-8.2	-11.0	-28.6	-0.5	3.5	3.5
(利益率)	(3.1%)	(-1.2%)	(-1.6%)	(-4.9%)	(-0.1%)	(0.6%)	(0.6%)
最終利益	26.9	-17.4	-18.4	-251.8	5.5	-0.5	-2.9
(利益率)	(4.8%)	(-2.5%)	(-2.6%)	(-43.3%)	(1.0%)	(-0.1%)	(-0.5%)

SHARP

S-3

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	252.4	224.3	476.8	223.3
スマートオフィス	281.7	280.0	561.7	271.4
ユニバーサルネットワーク	163.4	170.6	334.1	146.1
ブランド事業	697.7	675.0	1,372.7	640.9
ディスプレイデバイス	406.6	353.3	759.9	350.7
エレクトロニックデバイス	187.8	287.7	475.5	191.4
デバイス事業	594.4	641.1	1,235.5	542.1
小計	1,292.1	1,316.1	2,608.2	1,183.0
調整額	-34.1	-26.0	-60.1	-24.7
合計	1,257.9	1,290.1	2,548.1	1,158.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-4

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ&エナジー	17.4 (6.9%)	11.9 (5.3%)	29.3 (6.2%)	14.2 (6.4%)
スマートオフィス	2.5 (0.9%)	11.9 (4.3%)	14.5 (2.6%)	9.9 (3.7%)
ユニバーサルネットワーク	-4.2 (-2.6%)	-3.5 (-2.1%)	-7.8 (-2.3%)	3.0 (2.1%)
ブランド事業	15.7 (2.3%)	20.3 (3.0%)	36.1 (2.6%)	27.2 (4.2%)
ディスプレイデバイス	-13.7 (-3.4%)	-52.7 (-14.9%)	-66.4 (-8.7%)	-29.6 (-8.5%)
エレクトロニックデバイス	7.4 (3.9%)	7.3 (2.6%)	14.7 (3.1%)	4.6 (2.4%)
デバイス事業	-6.3 (-1.1%)	-45.3 (-7.1%)	-51.6 (-4.2%)	-25.0 (-4.6%)
小計	9.3 (0.7%)	-24.9 (-1.9%)	-15.5 (-0.6%)	2.1 (0.2%)
調整額	-8.3	-1.7	-10.1	-8.0
合計	1.0 (0.1%)	-26.7 (-2.1%)	-25.7 (-1.0%)	-5.8 (-0.5%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-5

四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ&エナジー	113.2	139.2	113.6	110.6	106.6	116.6	106.6
スマートオフィス	130.2	151.5	132.6	147.3	126.6	144.8	150.2
ユニバーサルネットワーク	77.2	86.2	93.7	76.9	65.7	80.3	92.5
ブランド事業	320.7	376.9	339.9	335.0	299.0	341.8	349.5
ディスプレイデバイス	189.4	217.1	217.8	135.5	171.3	179.4	126.3
エレクトロニックデバイス	68.9	118.8	164.4	123.3	83.2	108.1	140.8
デバイス事業	258.3	336.0	382.2	258.8	254.5	287.5	267.1
小計	579.1	712.9	722.2	593.8	553.6	629.4	616.6
調整額	-16.9	-17.1	-13.1	-12.8	-12.3	-12.4	-10.2
合計	562.1	695.8	709.0	581.0	541.2	617.0	606.4

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

S-6

四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ&エナジー	7.4 (6.6%)	9.9 (7.2%)	6.0 (5.4%)	5.8 (5.3%)	6.9 (6.5%)	7.3 (6.3%)	5.2 (5.0%)
スマートオフィス	1.1 (0.9%)	1.3 (0.9%)	2.6 (2.0%)	9.3 (6.4%)	3.1 (2.5%)	6.7 (4.7%)	9.0 (6.0%)
ユニバーサルネットワーク	0.3 (0.5%)	-4.6 (-5.3%)	-2.3 (-2.5%)	-1.2 (-1.6%)	1.7 (2.7%)	1.2 (1.6%)	4.6 (5.0%)
ブランド事業	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	13.9 (4.2%)	11.7 (3.9%)	15.4 (4.5%)	18.9 (5.4%)
ディスプレイデバイス	0.6 (0.3%)	-14.4 (-6.6%)	-13.6 (-6.3%)	-39.1 (-28.9%)	-17.3 (-10.1%)	-12.3 (-6.9%)	-19.7 (-15.6%)
エレクトロニックデバイス	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	1.4 (1.2%)	2.0 (2.5%)	2.5 (2.4%)	7.6 (5.4%)
デバイス事業	0.6 (0.2%)	-6.9 (-2.1%)	-7.7 (-2.0%)	-37.6 (-14.5%)	-15.2 (-6.0%)	-9.7 (-3.4%)	-12.1 (-4.5%)
小計	9.6 (1.7%)	-0.2 (-0.0%)	-1.2 (-0.2%)	-23.6 (-4.0%)	-3.4 (-0.6%)	5.6 (0.9%)	6.8 (1.1%)
調整額	-3.4	-4.8	-2.2	0.4	-3.6	-4.4	-4.5
合計	6.1 (1.1%)	-5.0 (-0.7%)	-3.5 (-0.5%)	-23.1 (-4.0%)	-7.0 (-1.3%)	1.1 (0.2%)	2.2 (0.4%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

S-7

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2022			FY2023		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
設備投資	20.5	23.9	44.5	22.3	37.7	60.0
内:ディスプレイ	4.2	9.9	14.2	10.3	15.0	25.3
減価償却費	38.0	46.2	84.2	29.2	35.8	65.0
研究開発費	39.9	38.7	78.7	36.7	48.3	85.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2022			FY2023	
	上期	下期	通期	上期	Q4
米ドル	132.98	135.98	134.48	141.00	145.00
ユーロ	137.22	141.71	139.46	153.38	155.00

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
設備投資	5.0	15.5	12.3	11.6	8.9	13.3	13.4
内:ディスプレイ	0.9	3.3	4.7	5.2	4.0	6.3	5.8
減価償却費	15.6	22.3	22.9	23.2	14.1	15.1	15.6
研究開発費	18.7	21.1	20.4	18.3	17.6	19.1	18.0

(単位:円)

平均為替レート	FY2022				FY2023		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
米ドル	128.57	137.38	140.60	131.35	137.37	144.63	147.89
ユーロ	136.60	137.84	142.81	140.60	149.46	157.29	159.10

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失) または、親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

※開示セグメント及び略号

スマートライフ&エナジー(SL)、スマートオフィス(SO)、ユニバーサルネットワーク(UN)、

ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

SHARP

SHARP

Be Original.

